平成26年度　全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

InterHighSchool 2014 in Chiba　02C1

(男)１回戦

試 合 日： 2014/08/02
開始時刻： 9:30~
会　　場： 船橋市総合体育館
コ ー ト： Cコート
試 合 順： 第1試合(男)１回戦

Team A		Team B
明　成	101 (28 − 6 / 16 − 20 / 27 − 20 / 30 − 15 / −) 61	昌　平
(宮城県)		(埼玉県)

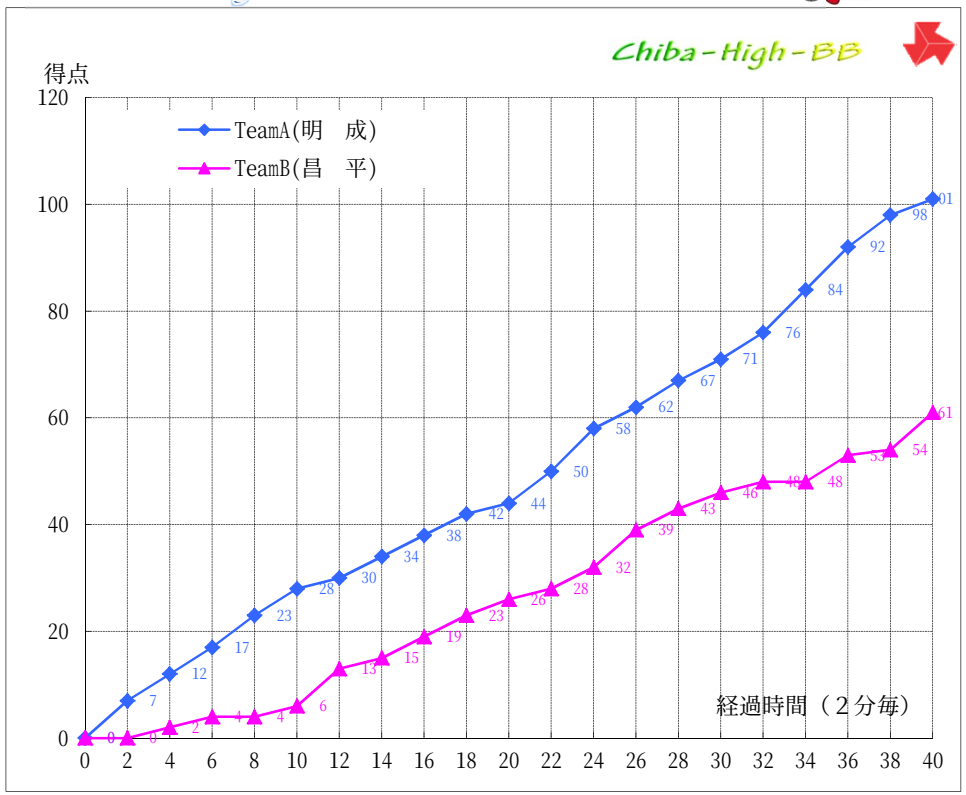
TeamA(明　成)

№	PT	選　手　名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	def	計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	◎	増子　優騎	3	0	1	1	2	0	0	0	4	0	0
5	○	柳瀬　亮	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
6	◎	納見　悠仁	14	0	7	0	1	2	3	5	5	0	6
7	○	富樫　洋介	9	1	3	0	0	0	1	1	1	0	1
8	◎	八村　塁	32	0	11	10	2	4	11	15	2	2	2
9	◎	足立　翔	6	0	3	0	3	1	1	2	1	0	0
10	◎	三上　侑希	28	6	5	0	2	1	1	2	1	0	1
11	○	江戸保　賢人	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12	○	江戸保　礼央	4	0	2	0	1	3	1	4	1	0	1
13	○	伊藤　修人	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1
14	○	井上　駿	2	0	1	0	1	2	1	3	0	0	0
15	○	清水　翔太	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							-	7	6	13			1
合　　計			101	7	34	12	15	21	27	48	16	2	13

TeamB(昌　平)

№	PT	選　手　名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	def	計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	◎	小無田　蓮	9	0	4	1	2	1	0	1	4	0	3
5	◎	小竹　貴也	13	1	5	0	0	0	1	1	0	0	1
6	◎	御嶽　祐之介	14	1	5	1	4	2	1	3	1	0	2
7	◎	田村　敦哉	10	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1
8	○	高橋　壱太	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0
9	○	竹下　昇希	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
10	○	江田　駿介	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1
11	○	生野　翔太	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
12	○	遠藤　颯斗	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2
13	○	川合　祐太郎	8	0	2	4	2	1	0	1	0	0	2
14	○	石垣　裕貴	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2
15	◎	八木　翼	4	0	2	0	4	2	1	3	0	1	1
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							-	5	5	10			1
合　　計			61	4	21	7	16	12	14	26	5	1	16

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部　所属高校バスケットボール部



タイムアウト

	前半(1･2ﾋﾟﾘｵﾄﾞ)		後半(3･4)ﾋﾟﾘｵﾄﾞ			延１	延２	延３	延４
TeamA	-	-	-	-	-				
TeamB	3:04	-	21:26		-				

【戦評】

明成は３－２ゾーン、昌平はハーフコートマンツーマンで始まる。明成の＃１０の３Ｐ、＃８のインサイドが決まる一方、昌平はゾーンを攻めきれない。昌平は１対１、＃１５のインサイドで流れをつかみかけるも明成の厳しいディフェンスに苦しむ。明成が第１Ｐを完全に制した。

第２Ｐ開始早々、昌平は＃４，６，７を中心に一気に７点を取る。明成も＃６，８を中心に反撃するも昌平の３－２ゾーンを攻めきれない。昌平がこのピリオドを制した。

第３Ｐ両チームともに２－３ゾーンのスタート。両チームともに得点が伸びない中、明成は＃６のドライブ、＃８のインサイドでリズムをつかみ始める。対する昌平も＃６のドライブが決まり、中盤から点の取り合いになるも、明成が＃８中心の攻撃で点を重ね、点差を広げた。

第４Ｐ、昌平は＃４，５，６の速いドライブで追い上げる。しかし、明成の＃１１，１２の強いインサイドプレイで点差がじわじわ広がっていく。第１Ｐの点差が勝敗の明暗を分けた一戦であった。

審判	橋本 恵一　/　笹本 拓　/	戦評	綿貫　亮

千葉県高体連バスケットボール専門部